三鷹市立第　中学校　令和8年度【音楽】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	【成果】 ・合唱指導の基本フォーマットがつかめてきた。 【課題】 ・練習がマンネリ化しやすい。音程が取れた、つられずに歌えた、の先に生徒主体で進んでいけない。 ・歌唱表現の技巧的な面の習得が弱い。	【現状】 ○自分の意見をもち、話し合い活動や発表の場でも意欲的に発言する姿勢が見られる。 ○活動の内容によらず、楽しみながら工夫して活動している様子が見られる。 【課題】 ○鑑賞の取り組み状況に個人差がみられる。 ○歌唱表現の技能的な面の習得が弱い。	・授業プリントをより見やすく改善し、情報の精選を行う。 ・合唱においては音楽的な内容よりも、「集団としてどう練習するか」「チームワーク」「協力」などに目を向けた指導に重点を置く。 ・鑑賞の授業の進行を定型化し、活動の中で集中すべき事項をわかりやすくする。 ◎三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用して系統的な指導を行う。
第2学年	【成果】 ○目標やねらいを明確にした指導により、学習の流れを意識しながら要点を掴んだ学習ができた。 ○「ひとりで」歌うことに自信がない生徒が多かったが、徐々に改善が見られた。 【課題】 ○得た知識を生かし、表現活動における主体的な取り組みの指導や友人への助言をすることに個人差がある。 ・難易度の高い歌唱曲についていけない生徒がみられる。	【現状】 ○全体的に教師や友達の話をよく聞き授業に集中して取り組む姿勢が見られる。 ○昨年度と比較するととても落ち着いて授業に参加できている。 【課題】 ○自分の考えや学びを他の領域と結び付けて理解し、表現に生かそうとする主体的な姿勢を持たせるような指導をしていくこと。 ○楽譜通りに表現できるようになったあと、さらにレベルアップしたくなるような意欲を引き出す方策が弱い。 ○器楽・歌唱ともに、ついてこれていない生徒への対応に工夫が必要。 ・合唱の声量はクラスごとの差が大きい。	○読譜力を高めるための楽典的な内容の指導の継続。 ○歌唱、鑑賞、器楽、創作の内容を相互に関わらせた指導の継続。 ◎グループでの話し合いやペアでの活動を通して、他者の意見に触れる機会を増やすとともに、さらに学びを深めて次に生かすように授業展開を工夫する。 ◎三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用して系統的な指導を行う。 ○音楽的な能力や技能面などを考慮して、適切にグループ分けをするとともに、効果的なタイミングでペアやグループ学習を取り入れていく。 ・授業プリントをより見やすく改善し、情報の精選を行う。 ○実技系活動では可能な限り個別指導時間を多く確保する。
第3学年	【成果】 ○楽譜から読み取ったことを基に自ら表現の工夫について考え、音楽表現ができるようになった。 ○２つの物を比較して聴くことを通して、その音楽のよさについて考えることができるようになった。 【課題】 ○生徒によって向上心に差がある。自分は「できる」「苦手」などのイメージが固まってしまっている。	【現状】 ○自分の意見に自信をもち、話し合い活動や発表の場でも意欲的に発言する姿勢が見られる。 ・自分たちで工夫して練習に臨む姿勢がみられる。 【課題】 ○楽譜から読み取れることについては、依然個人差が大きい。 ○自分の考えや学びを他の領域と結び付けて理解し、表現に生かそうとする主体的な姿勢を持たせるような指導をしていくこと。 ○クラスの友人に働きかけて、みんなで上達していこうという態度にクラスごとの差がある。	○三鷹市小・中一貫カリキュラムをさらに活用する。 ○どの領域でも楽譜を使用した学習を行い、楽譜から表現の道筋を立てられるように指導する。 ○グループでの話し合いやペアでの活動を効果的な場面に取り入れ、互いの表現を高めあうような時間を積極的に取り入れる。 ・授業プリントをより見やすく改善し、情報の精選を行う。 ◎板書だけでなく自らの気付きなどをメモする欄をつくるなどワークシートを工夫して構成し、学習の要点を自分で考えながら学習に取り組めるようにする。 ◎三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用して系統的な指導を行う。